

花と緑のネットワーク 通信



No.17 (2012年8月1日発行)

「全国花のまちづくり札幌大会」ご報告

6月29日、30日の2日間、「花がつなく北のまち さっぽろ」を大会テーマに、「全国花のまちづくり札幌大会」が開催され、たくさんの方がご来場されました。大会で実施した基調講演や講習会などをご紹介します。(事務局：西)

6月29日(金)

基調講演

ガーデンデザイナーの吉谷桂子さんを講師に迎え、『人に魅せる庭づくり～ヒントとノウハウ、考え方～』というテーマで講演していただきました。現在イギリスで流行っている庭のお話や、「庭づくりには美しさを感じる視野を広げることが大事だ」など、ためになるお話が聞けました。

事例発表

昨年の「全国花のまちづくりコンクール」で大賞や優秀賞を受賞した4団体が、活動内容を発表されました。どの活動も熱心で特色があり、参加者のみなさんの参考になったようです。

発表者 / キッピーグリーンクラブ(兵庫県)、市立御前崎総合病院(静岡県)、鹿児島市立吉野小学校(鹿児島県)、サッポロビール株式会社(北海道)

パネル展

花と緑のボランティア27団体の活動のほか、緑の絵コンクール大賞作品などをパネルでご紹介しました。

体験コーナー

協力/(地独)北海道立総合研究機構 林業試験場

北海道の樹木の香りを楽しむコーナーでは、ハマナスやエゾヤマザクラ、ヤチヤナギなどの樹木の花や葉から抽出した香りを体験し、また好きな香りをブレンドしてオリジナル香水づくりも楽しめました。



交流会

サッポロビール園で、道内・道外の参加者のみなさんがジギスカンを囲みながら交流しました。

講習会

・ハーブ講習～ラベンダーでせっけんづくり

講師 / 狩野 亜砂乃さん

ラベンダーについてのお話を聞いたあと、せっけんづくりをしました。さまざまな形や、ラベンダーの花穂の飾りつけで、参加者のみなさんの個性が表れたすてきなせっけんになりました。



・レカンフラワー講習～ライラックで作品づくり

講師 / たけだ りょうさん

レカンフラワーやライラックについてのお話を聞いたあと、小型のボックスパックを使って、ライラックのレカンフラワーの作品を作りました。参加者のみなさんそれぞれの、可愛い作品ができあがりました。



ミニツアー

大通公園など、札幌中心部の花や緑の見どころを、徒歩でめぐりました。

6月30日(土)

現地見学会

天候にも恵まれ、札幌北コース・札幌南コース・札幌郊外コースの3コースとも、各施設でスタッフやボランティアガイドの方々から見どころを教えてくださいながら見学し、充実した内容でした。一部ですが花と緑のボランティア団体の活動場所も見学。当日のご案内などにご協力をいただきました。



北の沢コミュニティガーデン
みんなの丘の見学

花と緑のネットワーク＊花壇づくり＊ご報告

「花と緑のネットワーク」の花壇づくりでは、植え込みやメンテナンスなどの作業だけでなく、茶話会やタネ・苗交換会などのイベントも実施しています。イベントと、植え込みから約2か月たった花壇の様子をご報告します。(事務局：西)

市役所前コンテナ花壇

7月6日(金)、バラが満開の「白い恋人パークローズガーデン」で、市役所前コンテナづくりのメンバーの茶話会を行いました。同ガーデンでは、「コンテナガーデンコンテスト」を開催中で、24基のコンテナが展示されていました。参加者のみなさんは、これからのコンテナづくりの参考になるようにと、1基ずついねいに見学していました。

また7月13日(金)には、市役所前コンテナのメンテナンスを行いました。現在、各コンテナはそれぞれの植物が成長し、特にペチュニア「さくらさくら」は、コンテナからあふれるように咲き誇っています。ぜひご覧ください。



コンテナ見学の様子

中島児童会館花壇

中島児童会館では、7月11日(水)にイベント「タネ・苗交換会」を実施しました。参加者のみなさんは、増えすぎてしまった植物の苗や、余ったタネを持ち寄り、自分の持ってきた植物の説明をした後、交換をしました。植物の育て方をくわしく聞いたり、お庭にある植物のお話で盛り上がりました。

花壇づくりのメンバーは、この日、花がらつみなど

のメンテナンスも行いました。現在の花壇は、マリーゴールドなどの一年草が色鮮やかに咲き、宿根草も花をつけています。

「タネ・苗交換会」で少しだけ残った苗は、中島児童会館花壇に植えられ、花壇の植物の仲間入りをしました。



タネ・苗交換会の様子

ガーデナーのみなさんの多くは、四季折々の庭の変化、団体での活動の様子などを写真で記録していると思います。もしかすると、カメラが移植ゴテや剪定バサミに次ぐガーデニングの必須アイテムの一つ、という方もいらっしゃるかもしれません。でも、「あんなにきれいに咲いていたバラを撮ったはずなのに…」「写したくない枯草にピントがピッタリ」なんて経験はありませんか？ ステキな庭の写真が撮影できるとガーデニングの楽しみが深まり、仲間との交流のきっかけにもなります。

そこで開催したのが、今回のワークショップ。



写真家の村岡ひろしさんに、花と緑の写真撮影のコツを教えてくださいました。

7/24
開催

花と緑の写真撮影ワークショップ
写真撮影のコツをプロに学ぼう

ワークショップでは、簡単に自己紹介をした後、撮影場所の北大植物園へと足を運びました。園内に数歩足を踏み入れただけで、鳥のさえずりが耳に響き、心地よい風が吹いてきます。

「面白い撮り方をしてみましょう」と、一つの植物を全員で撮影したり、それぞれ思い思いの草花をカメラに収めました。講師の村岡さんは、見本の写真を撮って見せてくれたり、一人ひとりのカメラを手にとって、使い方や撮影のコツなどを教えてくれました。

撮影後に室内で行われた講義では、ブナ林や滝野すずらん丘陵公園などで村岡さんが撮影された写真を見せていただきながら、デジタルカメラの仕組み、構図や絞りなどについてお聞きしました。

最後に参加者のみなさんが撮影した写真を講評していただきました。1日だけの講義でしたが大変勉強になりました。(事務局：都築)

タウンガーデナー紹介 鈴木のり子さん(南区)

「エルクの森」ボランティア

タウンガーデナーの鈴木のりさんは、芸術の森フラワーロードに花を咲かせる会、AMAサポーターズ倶楽部など、花や緑に関わる様々な活動に熱心に取り組まれています。鈴木さんの大切な活動の場の一つが「エルクの森」です。7月、鈴木さんと活動仲間の佐藤さんのお二人に敷地内をご案内いただきました。

パークゴルフ場やワイナリーで知られる「エルクの森」ガーデン・ルーラルリトリートの入口を抜けると、斜面に設けられた散策路の両脇にアジサイ、スモークツリー、ギボウシなどの生き生きとした姿が見えてきます。たくさんの植物の中には、鈴木さんたちがご家庭から持ち寄ったもの



もありです。自然と隣り合う広い敷地のガーデンなので、家庭では持て余してしまうほどの大ぶりの植物が美しく映えます。

坂道を登り切り、蓮の花が一面に見渡せる池の脇を通り過ぎると、バラに彩られた高台へと続く道があります。ガゼボやベンチが設置されたその高台からは、ブドウ畑とパークゴルフ場が一望に見渡せます。

ブドウ畑のあちらこちらに、バラが植えられています。バラを一緒に植えることで、ブドウにつく病気などを早く知ることができるそうです。バラはいわば炭坑内のカナリアのような役割を果たすそうです。



起伏に富んだ土地のため、散歩道を進むにつれて、新しい景色が目に飛び込んできます。たいへん広い場所ですが、4～5名のボランティア仲間と、ガーデン入口の植物の手入れをはじめ、高台のガゼボ付近やブドウ畑に点在するバラの剪定、花がら取りなどを、月に3～4回しているそうです。「ここに来ると癒されて元気になるのよ。子どもが成長していくみたいに植物が成長する姿を見るのが楽しみ」という鈴木さんと佐藤さんは、とても生き生きしていました。ぜひみなさん「エルクの森」に足をお運びください。(事務局:都築)

■エルクの森(南区藤野663番地 / 011-591-5676)

タウンガーデナー紹介 永田さん(西区)

小学校の花壇づくり

7月17日、西区ワークショップの第2回目で、タウンガーデナーの永田さんが活動されている八軒北小学校の花壇を訪問しました。

永田さんは、5年ほど前から退職後に取り組めることを探していたそうです。そこでご自宅の近所にある小学校の先生に相談して、学校敷地内を花で飾る活動をたった一人ではじめました。

ワークショップ当日、学校敷地を囲む塀の一部には、色とりどりのピオラで一杯の手づくりプランターが設置されていました。このプランターには、ペットボトルを再利用してつくった鉢が5つほどピッタリと入る



ように設計されています。鉢はプランターから簡単に取り出せるので、花苗の入れ替えや、プランターの移動にとっても便利です。永田さんが考えた工夫で

す。8月には鉢を入れ替える予定で、タネから育てたペチュニアの苗が出番を待っているそうです。

また、敷地内の数か所の花壇には、タネから育てたインパチェンスをはじめ、ラベンダー、ガウラ、矮性のルピナスなどが植栽されています。永田さんの活動を知ったご近所の花好きの女性が持ち寄って植えたものもあり、花壇の彩りを豊かにしています。

永田さんは、学校の職員や子どもたちが登校する前の、毎朝6時から2時間程度、花の手入れをされているそうです。とても丁寧に花がら摘みをしているためか、花の持ちがよく、とても生き生きと咲いているのが印象的でした。

朝早い活動なので、子どもたちとは数人と挨拶を交わす程度ですが、全校生徒の集まりで「お花のおじさん」として紹介される機会もあるそうです。学校の周りがだんだんとお花できれいになっていく様子を楽しみ眺めている子どもたちも少なくないでしょう。

(事務局:都築)



花と緑のボランティア団体紹介 むくどりホーム花壇の会

国道 230 号線沿いにある藤野 3 条 2 丁目のバス停で下車し、「藤野むくどり公園」の看板を頼りに進んでいくと、公園がみえる前から、子どもたちの楽しそうな歓声が響いてきます。

バリアフリーで知られるこの公園は、近隣住民などがアイデアを出し合い、1996 年に完成した街区公園です。点字を配した案内板があり、車いすでもゆったり通れる通路には手すりも設けられています。砂場や滑り台は、健常者と障がい者の子どもたちが一緒に



遊べるように設計されています。公園の向かいにある「むくどりホーム」が、公園を利用する人たちの触れ合いの場となっているのも魅力です。

2010 年 10 月に発足した「むくどりホーム花壇の会」は、この公園内にある花壇の維持管理を、月 2 回程度行っています。会発足のきっかけは、メンバーが「緑花園芸学校」の講義や実習でこの公園のことを知り、何かお手伝いができたらと思い、「むくどりホーム」に申し出たことから始まりました。

2011 年の春から、管理の手が十分に入っていなかった公園内の花壇の除草を中心に行ないました。そのかい



がああって、花壇の植物はだんだんときれいになっていきました。植物の手入れをしていると、「むくどりホーム」や公園で遊ぶ子どもたちやご近所の方が手伝ってくれます。

「花の名前を知りたい」という希望があり、今年は子どもたちと一緒に、花壇の植物に名札をつけることにしました。植物のリストや観察日記もつくることになり、「将来はお花屋さん」という子どもたちなどが熱心に参加してくれています。



会のメンバーは現在 3 名です。会への参加は「常にオープン」だそうです。関心のある方は活動日に公園を訪ねてみてはいかがでしょうか？（事務局：都築）

活動場所：藤野むくどり公園（南区藤野 2 条 1 丁目）
むくどりホーム花壇の会代表：神尾 聡（090-7512-2386）

インフォメーション

イベント 花と緑の交換会 in 屯田 PART6

自宅で余っている球根、宿根草等を交換しませんか？
苗がなくても参加できます。

- 日時 8月26日（日） 13：00～16：00
- 場所 屯田地区センター（札幌市北区屯田 5-6）
- 内容 ①球根・宿根草等の交換会
②花と緑のフリーマーケット
出店料：500円
③堆肥（EMぼかし）づくり講習会
14：30～
要申込み / 参加料：300円
講師：シーディーサンデープロジェクト
高氏明雄さん
※EMぼかし 2.5kg 持ち帰りできます。
- 問い合わせ・申込み 屯田地区センター
TEL：011-772-1811

さっぽろ花と緑のネットワーク登録状況

（2012 年 8 月 1 日現在）

さっぽろタウンガーデナー（238名）			
中央区	48名	北区	39名
東区	30名	白石区	10名
厚別区	22名	豊平区	15名
清田区	7名	南区	23名
西区	11名	手稲区	26名
その他	7名		
花と緑のボランティア団体（全27団体）			

【発行・編集】さっぽろ花と緑のネットワーク事務局
札幌市中央区北 1 条東 1 丁目ニューワンビル 4 階
財団法人札幌市公園緑化協会内
TEL：011-251-3309 FAX：011-211-2577
E-mail：flowers@sapporo-park.or.jp
http://www.sapporo-park.or.jp/flowers/

